

自己評価シート: 小学校第5学年【割合】の学習内容

これは、学習した単元【割合】の理解度を自分で評価でき、理解度に合わせて取り組み方を選び、学習内容が今よりもっとわかるようになるためのプリントです。

教科書を読んだり、問題を解いたりして自己評価する内容を一つずつ【ホップ】→【ステップ】の順に進め、学習内容の理解度を自分で評価し、チェック問題に取り組みましょう。学習内容でわからないことがあれば、教科書を読み直したり、家族や友達、先生に聞いたりして、学習内容がわかったかどうかを確かめましょう。全ての内容の自己評価とチェック問題が終わったら【ジャンプ】に進み、学習内容が今よりもっとわかるようになるために取り組んでいきましょう。

【ホップ：自己評価をしよう】

- ①教科書を読もう
- ②教科書の問題を解こう
- ③答えや解き方を確かめよう
- ④自己評価をしよう

【自己評価の目安】

- A : わかった
- B : 少しわからないところがあった
- C : わからないところが多かった

【ステップ：チェック問題を解こう】

- ・自己評価A、B→チェック問題を解こう
- ・自己評価C →友達や家族、先生に聞いたり、ポイントをまとめたりしてからチェック問題を解こう

【ジャンプ：今よりもっとわかるように取り組もう】

- ・チェック問題が全て終わったら、次のどちらかに進もう
- ・チャレンジ問題
- ・もう一度確かめてからチャレンジ問題

【割合】

【学習内容】二つの量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができるようになる。

この学習では、【割合】、【比べられる量(東京書籍)・くらべる量(啓林館)】、【もとにする量】、【百分率】、【%(パーセント)】という【算数用語や記号】が大切です。

	☆教科書を読んだり、問題を解いたりして自己評価する内容	【ホップ】			【ステップ】	【ジャンプ】
		啓林館 ページ	東京書籍① ページ	自己評価 (理解度)	チェック問題	チャレンジ問題
↓	・割合の意味について理解し、割合を求めること	172~174	68~70	A B C	①、②	★佐賀県教育センター 小学校算数学習プリント 小学5年「くらべ方を考えよう①」 【 ★学習している教科書会社の学習プリント 【啓林館】自己評価テスト「割合①」 【東京書籍】うでだめシート「百分率とグラフ①」
↓	・百分率の意味や表し方を理解すること	178~179	72~73	A B C	③、④	
↓	・もとにする量と割合から「比べられる量・くらべる量」を求めること	175	74~75	A B C		
↓	・「比べられる量・くらべる量」と割合からもとにする量を求めること	176	76~77	A B C	⑤	
↓	・割引などの割合を使った問題の解き方を理解すること	178~181	79	A B C	⑥	

A、B、Cのいずれかを
○でかこみましょう。

正解であれば、番号
に色をぬりましょう。

【チェック問題】①割合の意味について理解し、割合を求めること

H30_4月_6年_全国A問題・・・48.2%

ある会場に子どもたちが集まりました。

集まった子どもたち 200 人のうち 80 人が小学生でした。

小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。

下の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

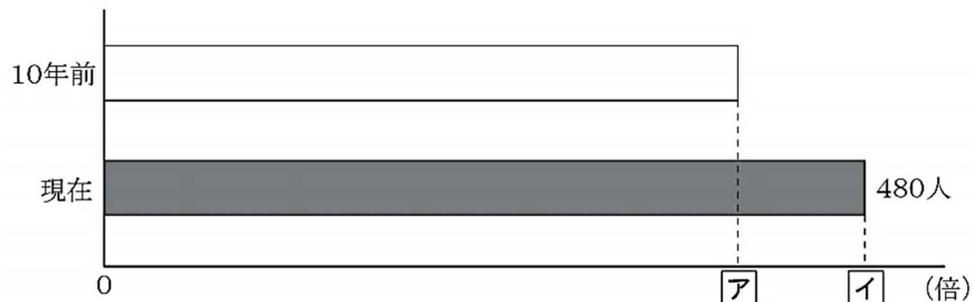
- 1** 0.4 %
- 2** 2.5 %
- 3** 40 %
- 4** 80 %

【チェック問題】②割合の意味について理解し、割合を求めること

H29_12月_6年・・・51.4%

現在、天山てんざん小学校の子どもわらわの人数は480人です。これは、10年前の子どもわらわの人数の120%の人数だそうです。10年前の子どもわらわの人数をもとにしたときの、現在の天山小学校の子どもわらわの人数の割合を、次の図ずに表します。

図



図の中の **ア** と **イ** には、下の6つの数のいずれかが入ります。 **ア** と **イ** に入る数をそれぞれ書きましょう。

0.8	1	1.2	80	100	120
-----	---	-----	----	-----	-----

【チェック問題】③もとにする量と割合から「比べられる量・くらべる量」を求めること

H29_4月_中1...78.5%

定員が50人のバスに、定員の70%のお客さんが乗っています。このバスには、お客さんが何人乗っていますか。答えを書きなさい。

【チェック問題】④もとにする量と割合から「比べられる量・くらべる量」を求めること

H27_12月_6年...62.6%

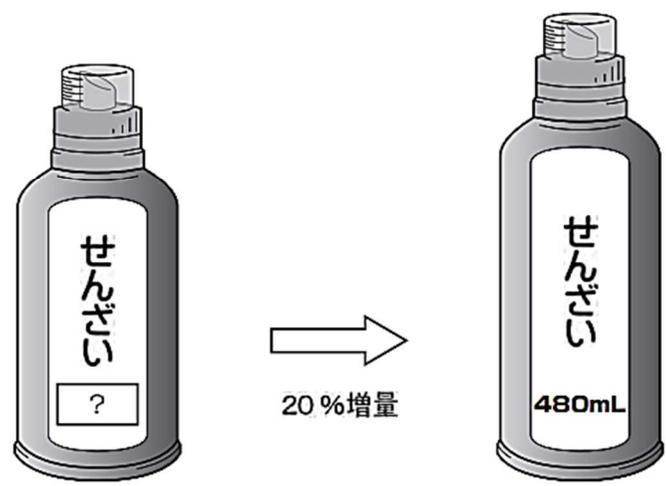
ペットボトルの中に1000mLのジュースが入っています。このジュースには、果じゅうが、20%ふくまれています。このジュースにふくまれている果じゅうは、何mLですか。答えをかきましょう。

【チェック問題】⑤「比べられる量・くらべる量」と割合からもとにする量を求めること

H27.4月_6年_全国B問題・・・13.4%

せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480 mLです。

増量前のせんざいの量は何 mL ですか。求める式と答えを書きましょう。



求める式

答え

【チェック問題】⑥割引などの割合を使った問題の解き方を理解すること

H27_12月6年...49.3%

まさひろさんは、図1のぼうしを買うために商店街に行きました。商店街のA店とB店で、図1のぼうしが売られていました。

図1



A店でぼうしを買う場合と、B店で値引券を使ってぼうしを買う場合では、どちらが安く買えますか。次のアからウまでのの中から正しいものを1つ選んで、その記号をかきましょう。また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使ってかきましょう。

ア A店のほうが安く買える。

イ どちらの店で買っても、値段は同じ。

ウ B店のほうが安く買える。

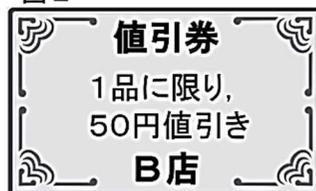
A店とB店では、次のようにして商品を売っていました。

【A店】 すべての商品の^{ねだん}値段が定価の20%引き

【B店】 すべての商品の値段が定価の10%引き
ただし、^{ねびき}値引券をもっている方は、定価の10%引きの値段から、さらに値引きができます。

まさひろさんは、右の図2のようなB店の値引券を1まい持っています。その値引券には、「1品に限り、50円値引き」と書かれています。

図2



選んだわけ

小学校第5学年【割合】のチェック問題【解答】

①3

②ア 1、イ 1.2

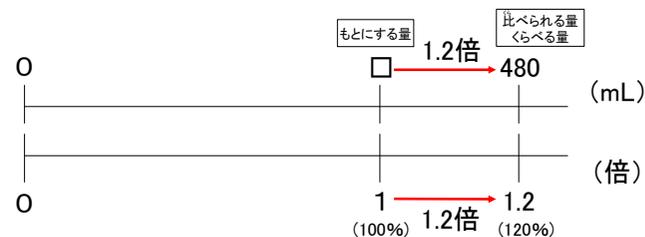
③35人

④200mL

⑤(式) $480 \div 1.2$ 、または、 $\square \times 1.2 = 480$ 、

または、 $480 \div 120 \times 100$

(答え) 400mL



[求め方] 増量前のせんざいの量は□mLであり、これは、もとにする量(1)にあたる。

割合を表す下の直線を見ると、もとにする量(1)を1.2倍すると、「比べられる量・くらべる量」(1.2)になることが分かる。

割合を表す下の直線が1.2倍になっているから、せんざいの量を表す上の直線も、もとにする量である増量前のせんざいの量□mLを1.2倍すると、「比べられる量・くらべる量」の増量後のせんざいの量は480mLになる。

$$\begin{aligned} \text{式} \quad & \square \times 1.2 = 480 \quad ※ \\ & \square = 480 \div 1.2 \quad ※ \\ & \square = 400 \end{aligned}$$

答え 400mL

※ 「1.2」ではなく「120」を用いた場合、「100でわること」を表す表現があれば正解である。

⑥ アを選んで、次の【正答例】のような[わけ]を書く。

【正答例】値引き後の値段が定価の何倍になるのかを考え、値段を求めて比較する方法

【記号】ア

【わけ】

A店のぼうしの値段は、定価の20%引きなので、
 $100 - 20 = 80$ で定価の80%となります。
定価の80%は、定価の0.8倍にあたるので、A店のぼうしの値段は、
 $1000 \times 0.8 = 800$ で800円です。

B店のぼうしの値段は、定価の10%引きなので、
 $100 - 10 = 90$ で定価の90%となります。
定価の90%は、定価の0.9倍にあたるので、
 $1000 \times 0.9 = 900$ で900円です。
値引券を使うと、B店のぼうしの値段は、
 $900 - 50 = 850$ で850円です。

A店のぼうしの値段は800円、B店のぼうしの値段は850円になるので、A店の方が安く買えます。

【正答例】値引きする金額が定価の何倍になるのかを考え、値引きする金額を比較する方法

【記号】ア

【わけ】

A店のぼうしの定価の20%は、定価の0.2倍にあたるので、値引きする金額は、
 $1000 \times 0.2 = 200$ で200円となります。

B店のぼうしの定価の10%は、定価の0.1倍にあたるので、値引きする金額は、
 $1000 \times 0.1 = 100$ で100円となります。
値引券を使うと、値引きする金額の合計は、
 $100 + 50 = 150$ で150円となります。

A店の値引きする金額は200円、B店の値引きする金額の合計は150円になるので、A店の方が安く買えます。

【正答例】値引きする金額が定価の何倍になるのかを考え、値段を求めて比較する方法

【記号】ア

【わけ】

A店のぼうしの定価の20%は、定価の0.2倍にあたるので、値引きする金額は、
 $1000 \times 0.2 = 200$ で200円となります。
だから、A店のぼうしの値段は、
 $1000 - 200 = 800$ で800円です。

B店のぼうしの定価の10%は、定価の0.1倍にあたるので、値引きする金額は、
 $1000 \times 0.1 = 100$ で100円となります。
値引券を使うと、値引きする金額の合計は、
 $100 + 50 = 150$ で150円となります。
だから、B店のぼうしの値段は、
 $1000 - 150 = 850$ で850円です。

A店のぼうしの値段は800円、B店のぼうしの値段は850円になるので、A店の方が安く買えます。